



# 胃癌とヘリコバクター・ピロリ (Hp) の総括 ～Hp発見以前に私たちは何を見ていたのか?～

わが国において胃癌はもっとも罹患率の高い腫瘍として、古くから基礎・臨床両面にわたる研究が精力的に進められ、診断・治療ともに世界の先頭を走っていたが、ヘリコバクター・ピロリ (Hp) の発見と胃癌carcinogenとしての認定をきっかけに根底が揺らぐことになった。本座談会では、このターニングポイントの前後を振り返り、実験胃癌の歴史、Hp感染・発癌機序、内視鏡診断に与えた影響などについて、反省点も含めてディスカッションしていただいた。

(開催：2019年9月)

〈司会〉

佐野 武  
Takeshi SANO



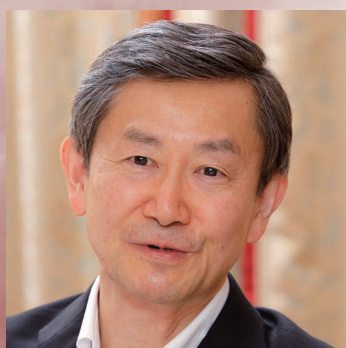
がん研有明病院病院長

立松正衛  
Masae TATEMATSU



一般社団法人化学物質安全性評価  
研究推進機構理事／立松クリニック  
理事長

一瀬雅夫  
Masao ICHINOSE



帝京大学医学部特任教授

牛島俊和  
Toshikazu USHJIMA



国立がん研究センター研究所  
エピゲノム解析分野分野長